

2.2 近年の環境の状況についての実感

(1) 近年の実感

近年の環境の状況についての地域レベル、国レベル、地球レベルの実感は、レベルにより大きく異なる結果となった。地域レベル、国レベル、地球レベルと規模が大きくなるにつれて、「(やや)悪化している」(「やや悪化している」及び「悪化している」の合計)と感じている人が多いという結果となった。国レベル及び地球レベルでは、「(やや)悪化している」と感じている人が半数を超えるが、地域レベルではおよそ半数の人が「変わらない」と感じている。

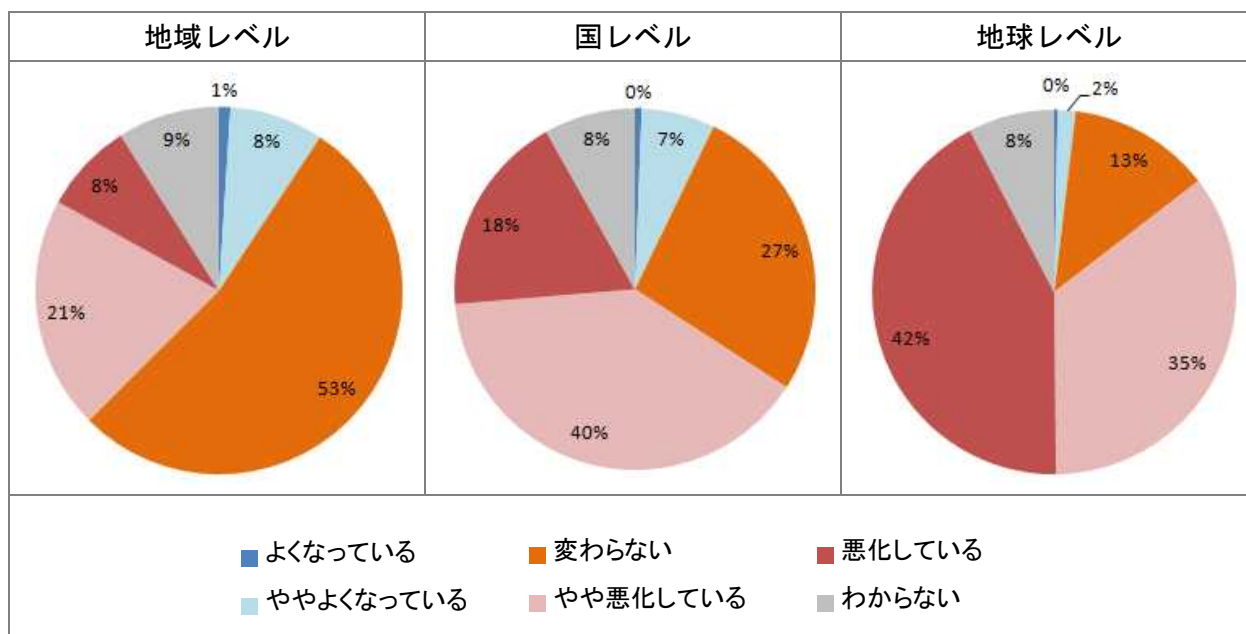


図 12 近年の環境の状況についての実感

年代別にみると、地域レベルでは、「(やや)よくなっている」(「よくなっている」及び「ややよくなっている」の合計)と感じている人の割合が70歳代以上で最も高く、15.5%となっている。国レベルでも、70歳代以上の「(やや)よくなっている」と感じている人の割合が多い傾向がみられたが、地球レベルでは、全ての世代で5%より少なくなっている。

また、時系列でみると、どのレベルでも前年度から今年度にかけて「(やや)悪化している」と感じている人が減っている。

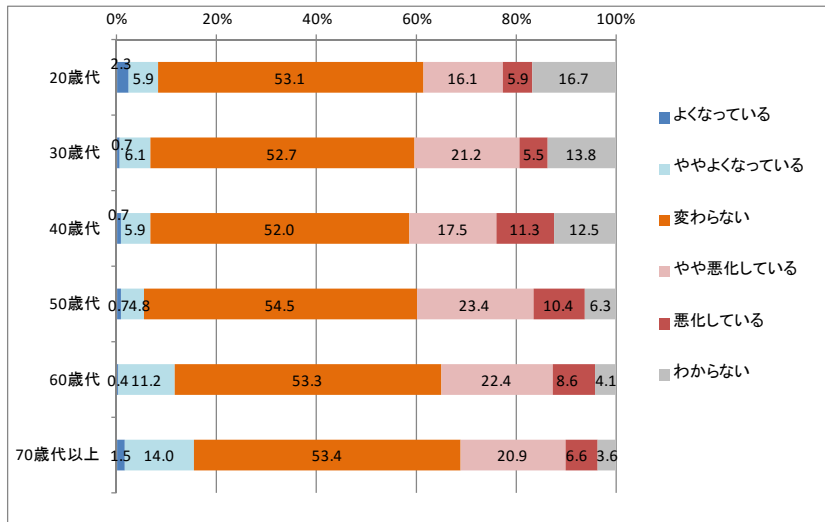


図 13 近年の環境の状況についての実感（地域レベル、年代別）

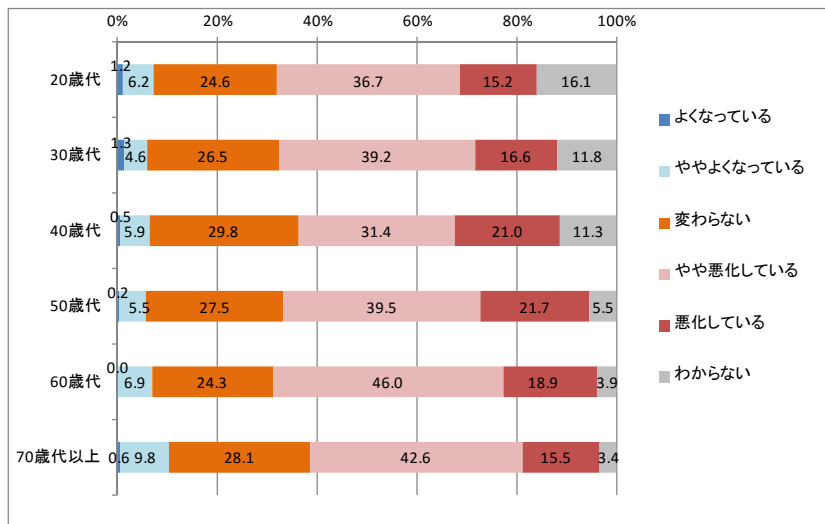


図 14 近年の環境の状況についての実感（国レベル、年代別）

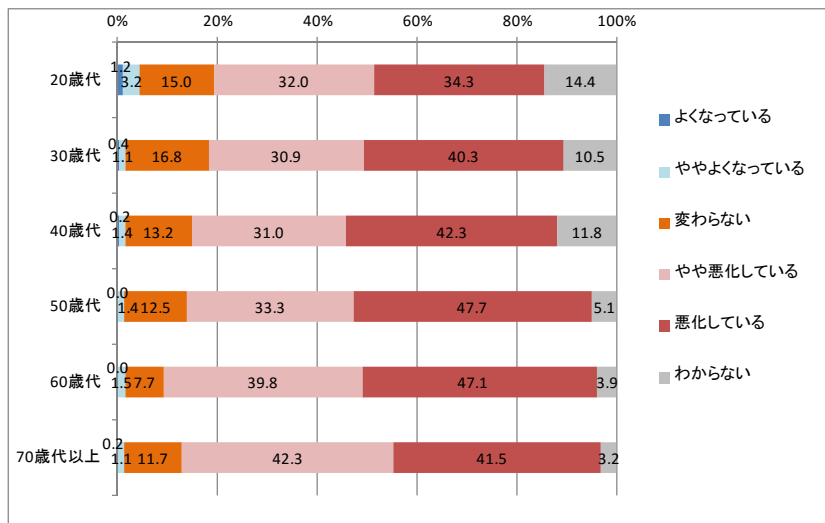


図 15 近年の環境の状況についての実感（地球レベル、年代別）

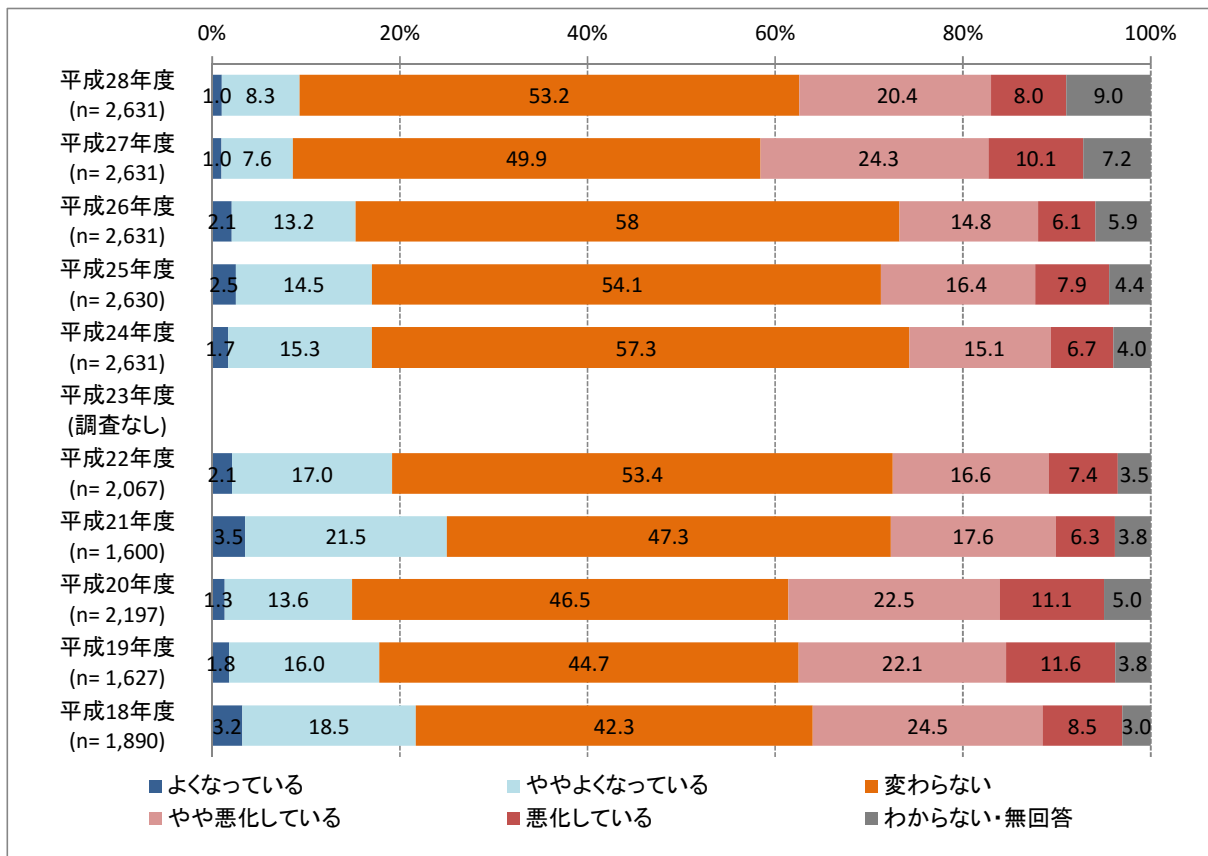


図 16 近年の環境の状況についての実感（地域レベル、時系列）

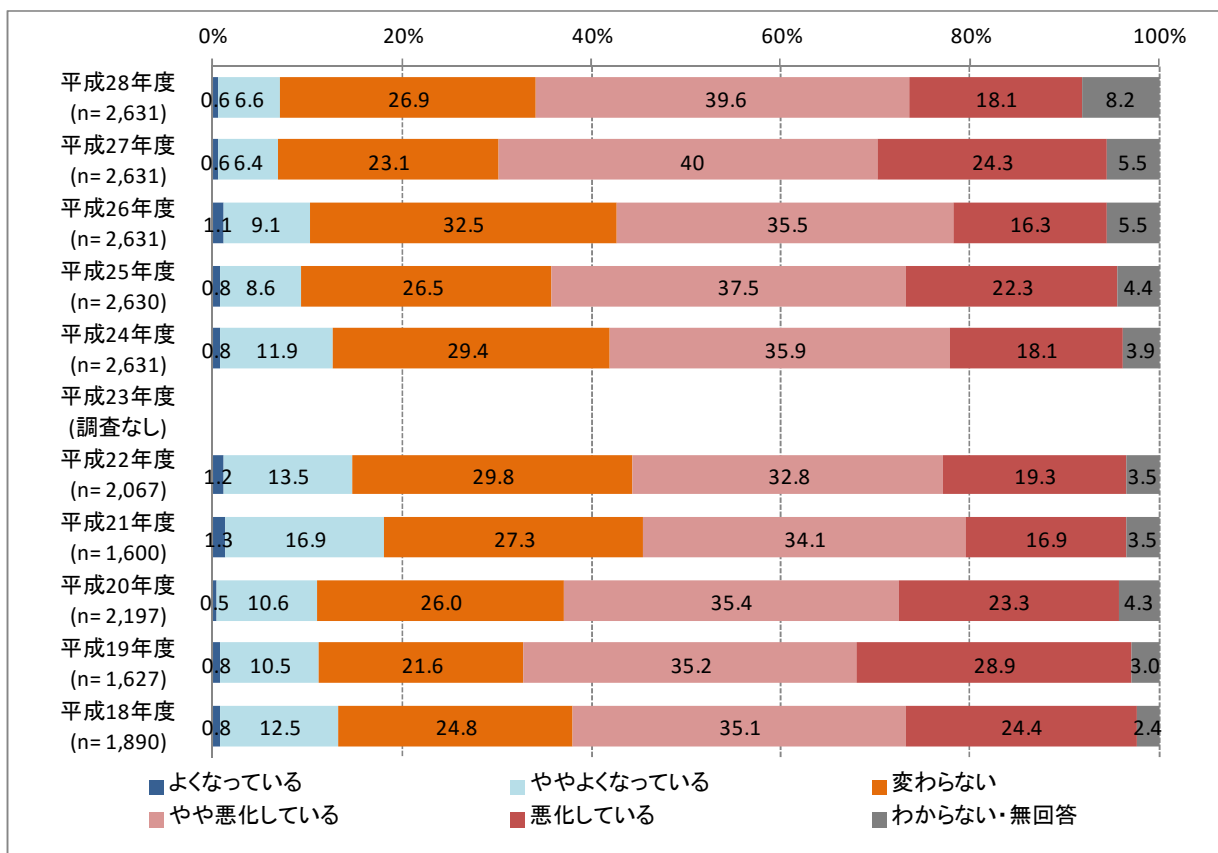


図 17 近年の環境の状況についての実感（国レベル、時系列）

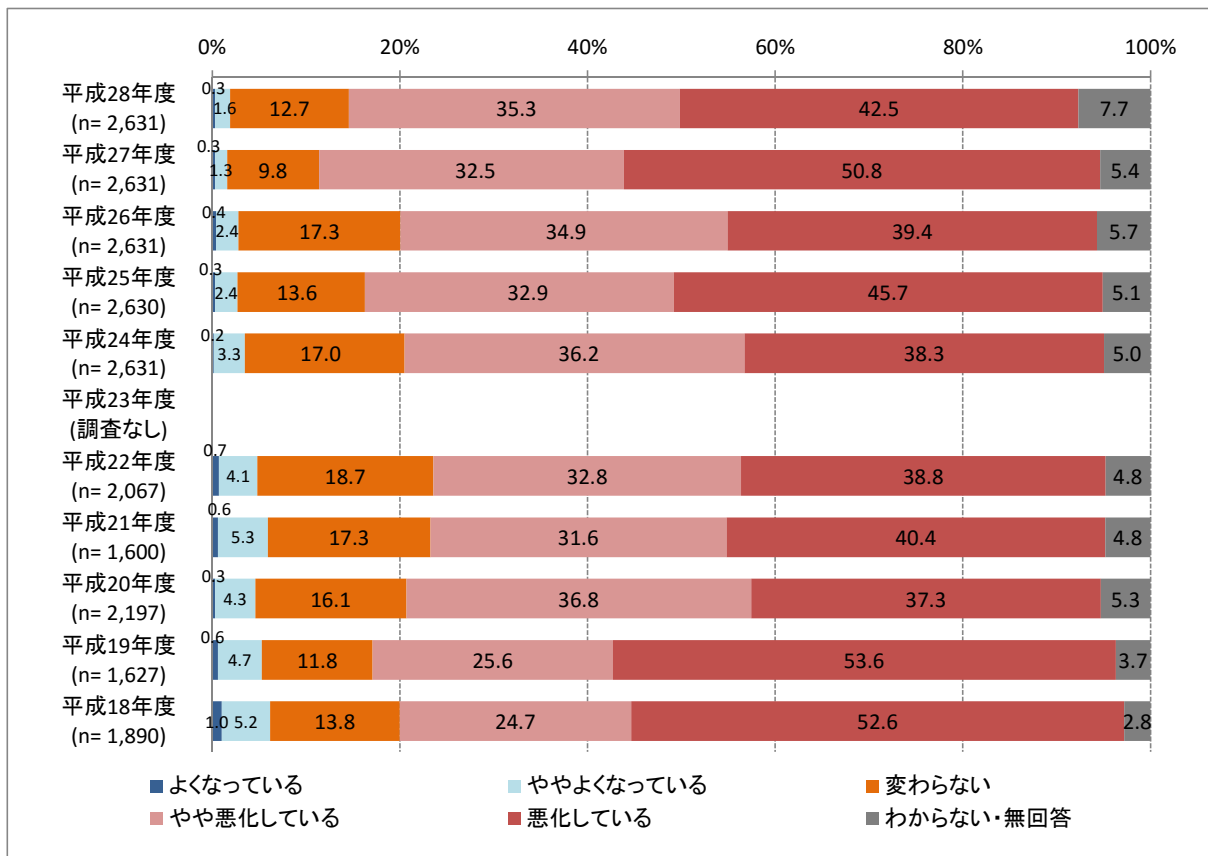


図 18 近年の環境の状況についての実感（地球レベル、時系列）

(2) 近年の環境改善を実感する理由

近年の環境の状況について、地域レベル、国レベル、地球レベルの各レベルで「(やや) よくなっている」と回答した人にその理由を複数選択可として聞いたところ、地域レベルでは「不法投棄など廃棄物の不適正処理対策が成果を上げているから」が最も多く、30.1%となった。その他多い回答は、「大気汚染対策が成果を上げているから」の28.5%、次いで「水質汚濁対策が成果を上げているから」と「人々の生活の身近にある自然環境保全対策が成果を上げているから」の27.2%となった。分野としては、廃棄物関連分野は選択する人が多く、最も少ない「廃棄物の最終処分場整備が進んでいるから」でも18.7%となっている。

国レベルでみると、「地球温暖化対策が成果を上げているから」が最も多く44.7%であった。その他多い回答は、「大気汚染対策が成果を上げているから」の42.1%、次いで「水質汚濁対策が成果を上げているから」の24.2%、次いで「ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染対策が成果を上げているから」の21.1%となった。

地球レベルでみると、「地球温暖化対策が成果を上げているから」が最も多く、42.9%であった。次いで「オゾン層対策が成果を上げているから」の24.5%となった。

n=246

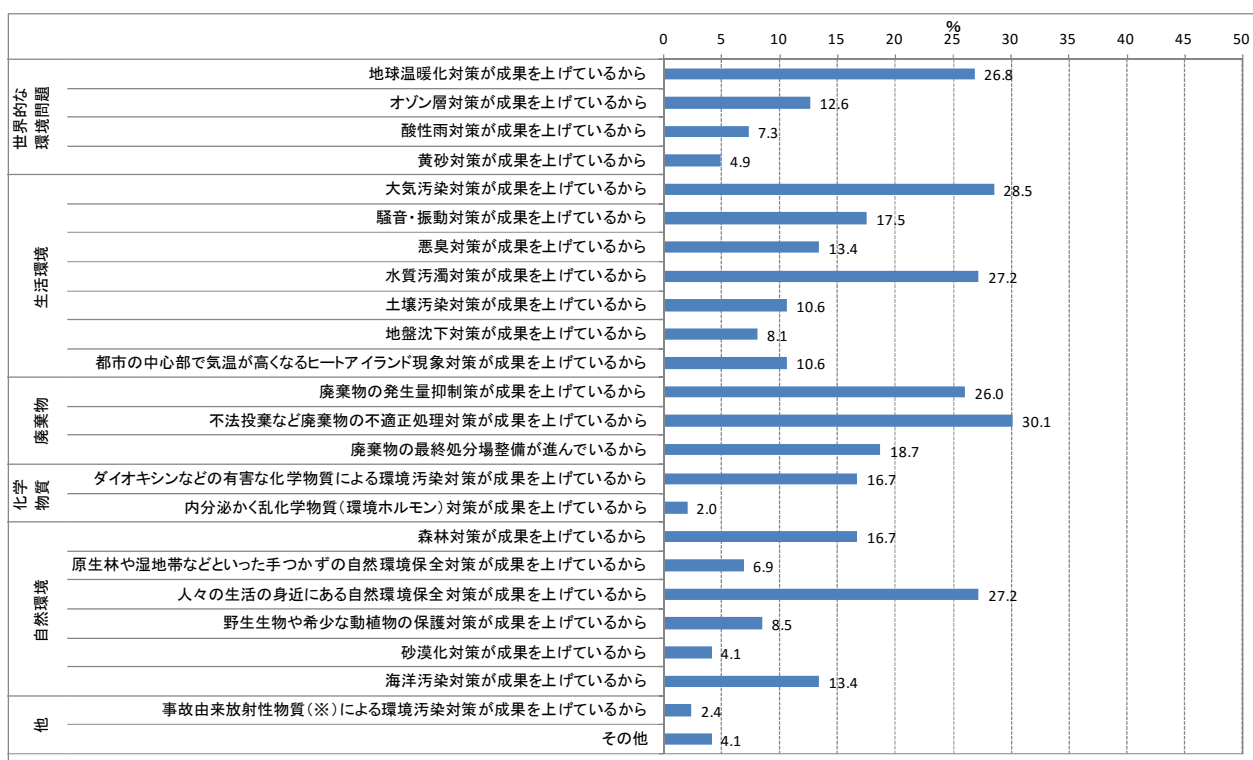


図 19 近年の環境改善を実感する理由 (地域レベル)

※前問(近年の環境の状況についての実感に関する問)で「よくなっている」または「ややよくなっている」と回答した人を対象としたもの

n = 190

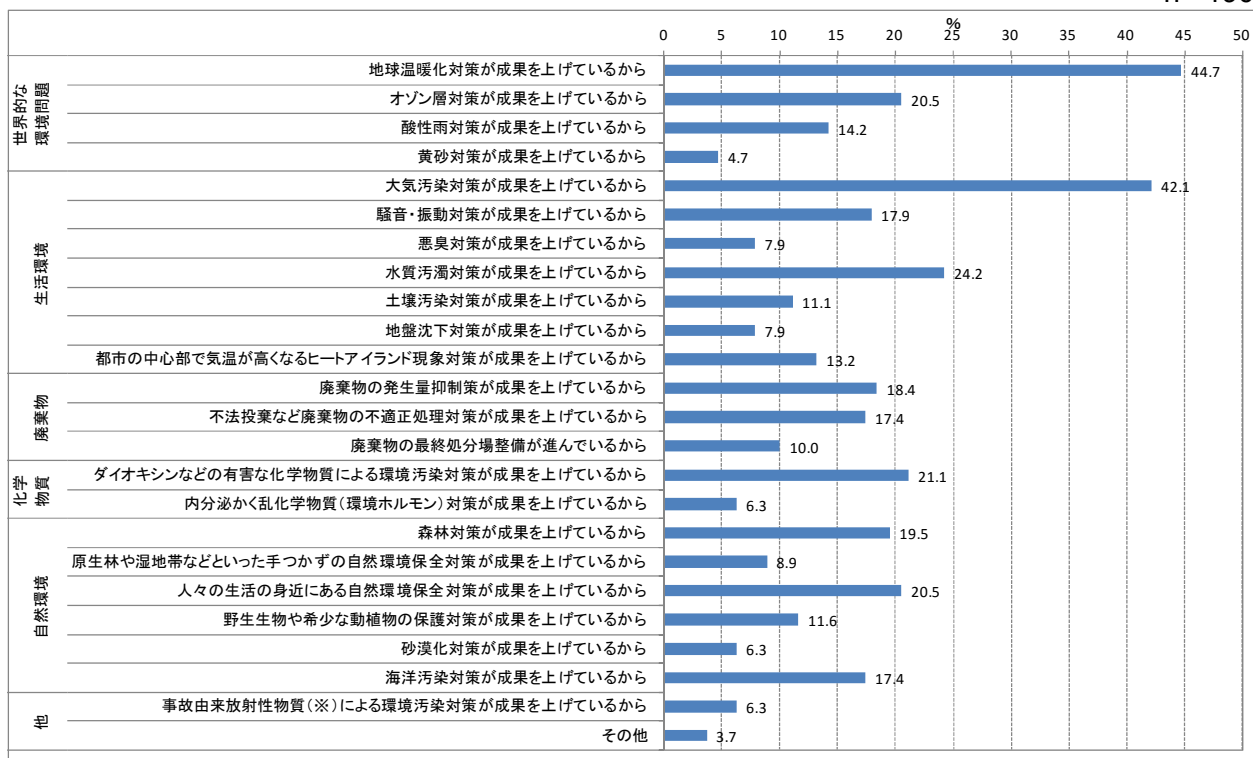


図 20 近年の環境改善を実感する理由 (国レベル)

※前問 (近年の環境の状況についての実感に関する問) で「よくなっている」または「ややよくなっている」と回答した人を対象としたもの

n = 49

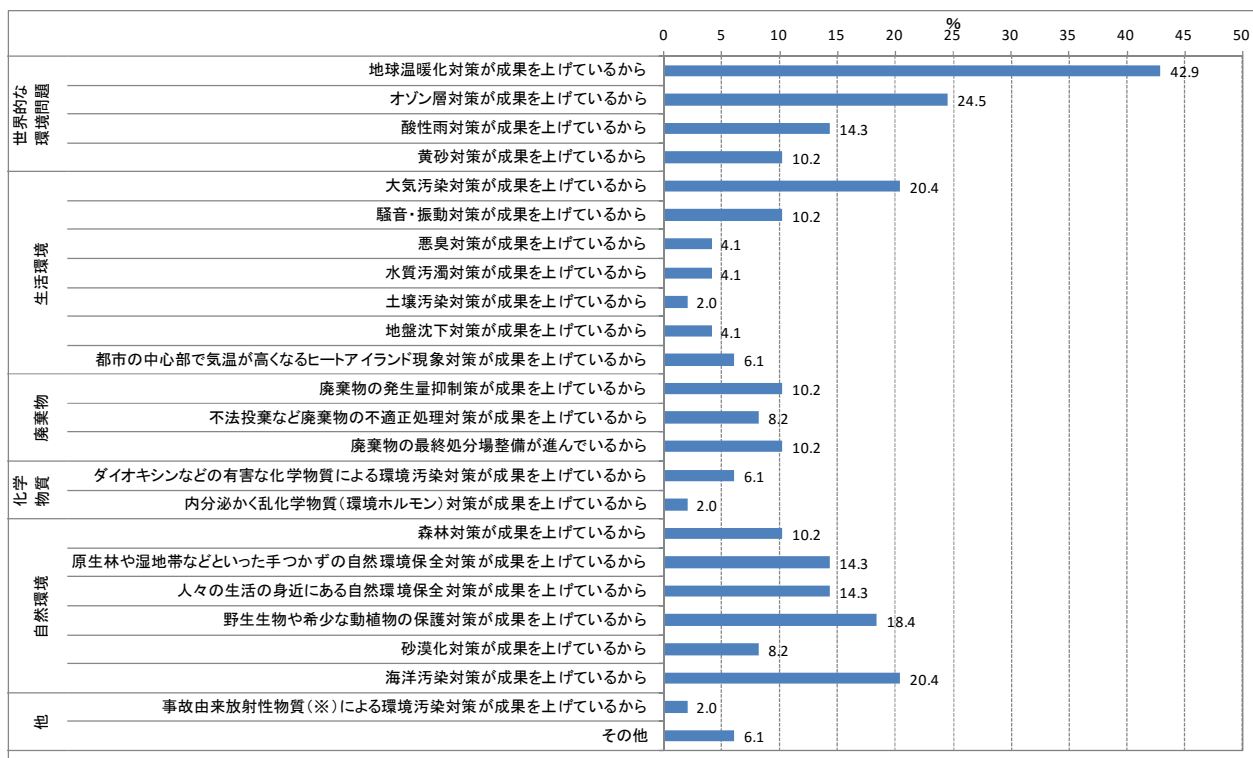


図 21 近年の環境改善を実感する理由 (地球レベル)

※前問 (近年の環境の状況についての実感に関する問) で「よくなっている」または「ややよくなっている」と回答した人を対象としたもの

(3) 近年の環境悪化を実感する理由

近年の環境の状況について、地域レベル、国レベル、地球レベルの各レベルで「(やや)悪化している」と回答した人にその理由を複数選択可として聞いたところ、地域レベルでは「地球温暖化が進んでいるから」が最も多く、48.5%となった。その他多い回答は、「人々の生活の身近にある自然が減少しているから」の29.1%、次いで「森林が減少しているから」の22.3%となった。「人々の生活の身近にある自然が減少しているから」については、地域レベルでの「改善を実感する理由」(図19)においても割合が高く、いずれも身近な環境問題として認識しやすい項目であるためか、成果を上げているのか状態悪化が進んでいるのかの実感がわかれる項目となった。

国レベルでみると、「地球温暖化が進んでいるから」が最も多く63.2%であった。その他多い回答は、「都市の中心部で気温が高くなるヒートアイランド現象が悪化しているから」の41.2%、次いで「事故由来放射性物質による環境汚染が発生したから」の39.9%となった。

地球レベルでみると、「地球温暖化が進んでいるから」が最も多く、77.8%であった。次いで「森林が減少しているから」の49.4%となった。

n = 749

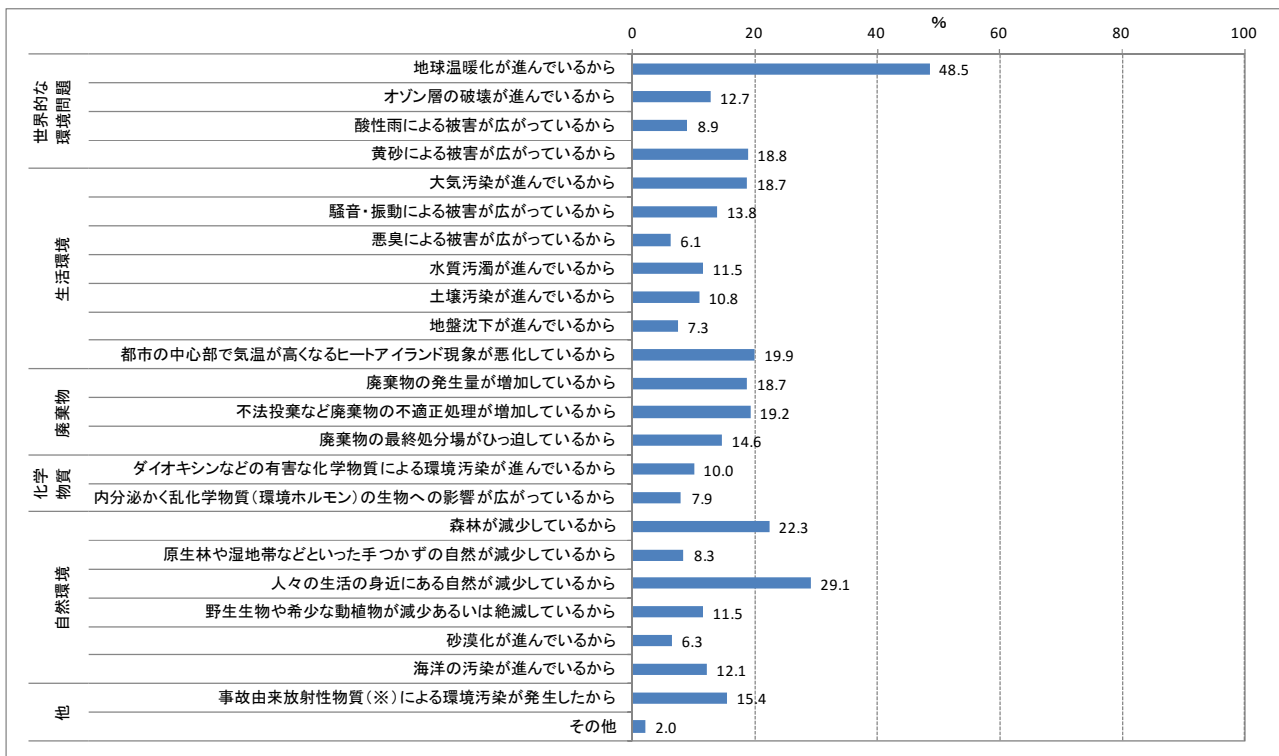


図 22 近年の環境悪化を実感する理由 (地域レベル)

※2つ前の問(近年の環境の状況についての実感に関する問)で「やや悪化している」または「悪化している」と回答した人を対象としたもの

n = 1,518

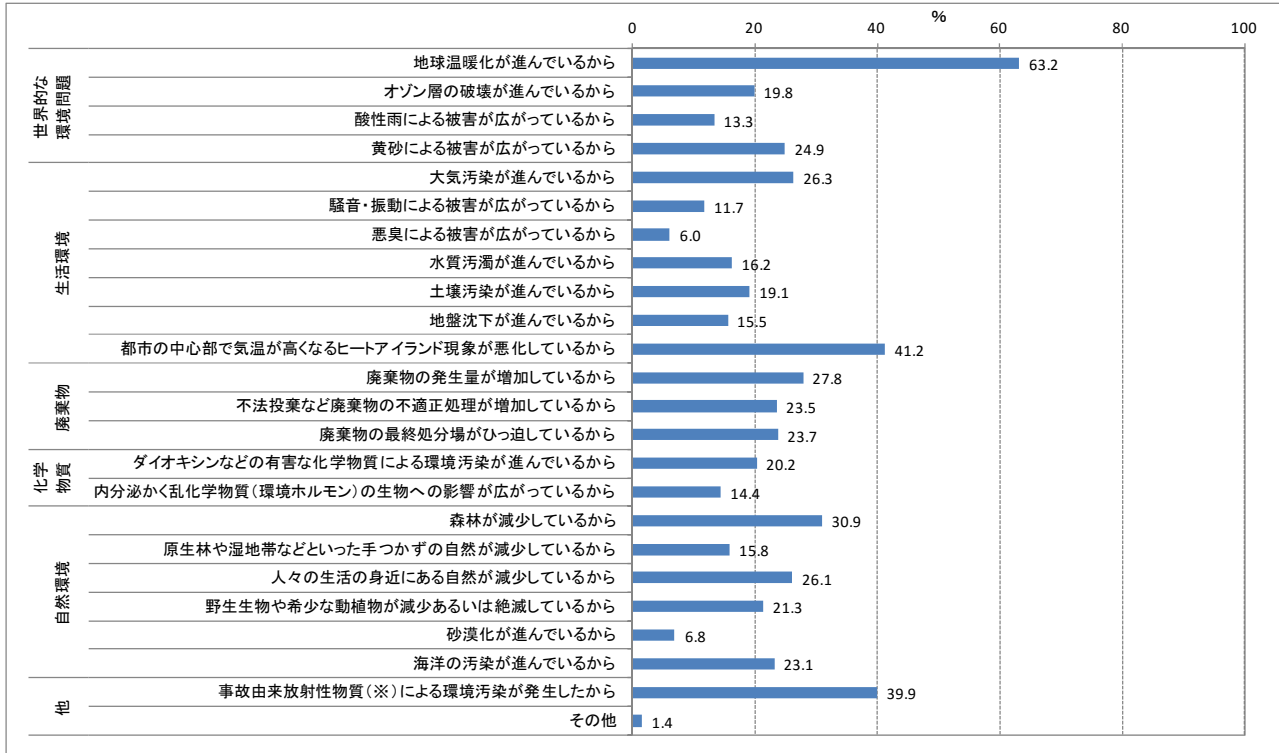


図 23 近年の環境悪化を実感する理由 (国レベル)

※2 つ前の問 (近年の環境の状況についての実感に関する問) で「やや悪化している」または「悪化している」と回答した人を対象としたもの

n = 2,045

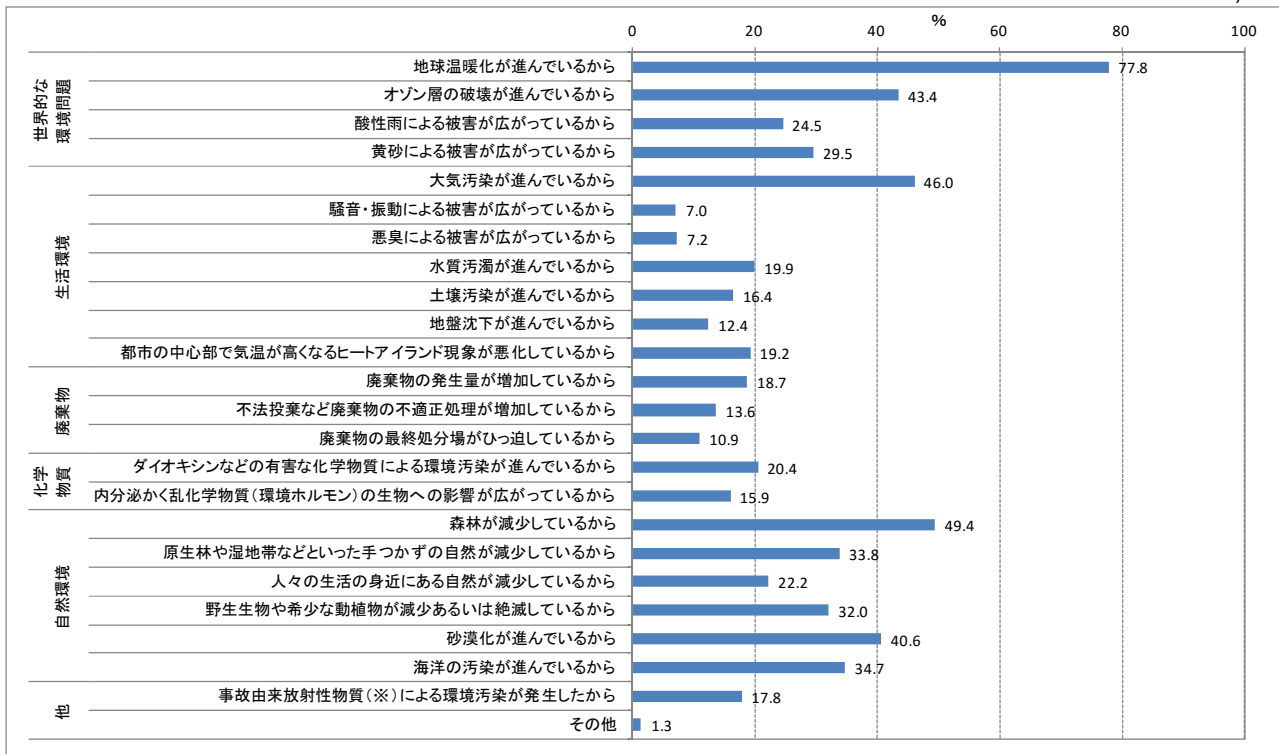


図 24 近年の環境悪化を実感する理由 (地球レベル)

※2 つ前の問 (近年の環境の状況についての実感に関する問) で「やや悪化している」または「悪化している」と回答した人を対象としたもの